

# 碑文谷公園の桜再生実行計画 現地調査会

開催日時：令和4年(2022年)10月2日(日)10:00～12:00

## テーマ「桜の現状・課題と将来像」



### 説明ポイント

- ① スポーツ施設エリア・北側外周部  
狭い植栽帯と腐朽キノコ
- ② スポーツ施設エリア・テニスコート横  
踏圧と腐朽キノコ
- ③ スポーツ施設エリア・保育園側  
ゆったりとした植栽空間
- ④ 池のあるエリア・池西部  
工事による根の切断
- ⑤ 池のあるエリア・池南部  
樹林の成長に伴う桜の日照不足
- ⑥ 池のあるエリア・池北部  
顕著な踏圧による枯れ下り



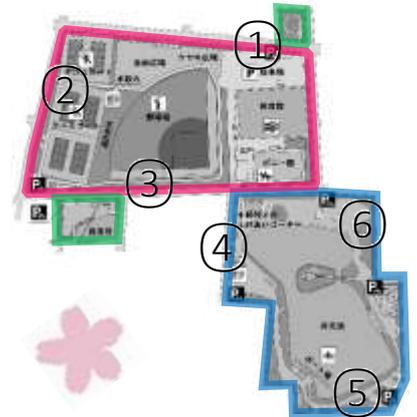
・新型コロナウイルス感染予防のため、マスクを着用してご参加ください。  
・当日、熱・咳・だるさのある方は出席をお控えください。

# 碑文谷公園の桜再生実行計画 現地調査会

## ～ 公園の桜の将来像を考えよう ～

かつて「命の水」と慕われてきた弁天池をはじめ、スポーツ施設や動物広場など、地域の人々の生活の一部となっている碑文谷公園。春は桜でいっそう賑わいます。開園から89年経つこの公園では桜の植樹が進められてきましたが、環境の変化などから、古い桜の樹勢が衰えたり、倒木、落枝などの危機管理が課題となっています。

本日は調査会を開催し、代表的な6つの地点を回りながら碑文谷公園の桜の将来像について、皆さんとともに考えていきたいと思ひます。



### ① スポーツ施設エリア・北側外周部



ベッコウタケ、植栽帯が小さい、枝の剪定痕から腐朽

【健康状態】

枯死

ベッコウタケ

顕著な枝枯れ・枯下り

小枝や大枝の枯れ

樹形乱れ



【立地】

狭い植栽帯でフェンス際に植わる  
植栽帯内は高木低木が多く植わり密度が高い

【原因】

- ・ベッコウタケ(病原性の強い腐朽菌)→急速に枯死木が増加
- ・狭い植栽帯の中での生育
  - 越境枝の剪定からの枯れ・樹勢衰退・腐朽拡大
  - 樹木同士の根が競合、雨水の浸透が悪い
  - 養水分を受け取る範囲が狭い
  - 植栽帯外の根は工事による損傷が潜在的にあり得る



植替えや間引きにより1本当りの根域を広げる  
支障枝は細いうちにこまめに切除する  
ベッコウタケの拡大をモニタリング  
土壤改良ができればなお望ましい



## ② スポーツ施設エリア・テニスコート横



ベッコウタケ、太枝の剪定痕から腐朽、土が硬い

【健康状態】

空洞・腐朽

ベッコウタケ

小枝や大枝の枯れ

【立地】

敷地境界線に列植 テニスコートやベンチがあり利用者が多い

【原因】

- ・太枝の剪定痕が多い →剪定痕から腐朽が進み樹勢が衰退
- ・踏圧により土が硬い →根が衰退。養水分の吸上げが困難
- ・ベッコウタケ(病原性の強い腐朽菌)→急速に腐朽が進行

支障枝は細いうちに切除、根元の保護、土壤改良が望ましい

## ③ スポーツ施設エリア・保育園側

碑文谷公園の元気な桜・よい環境

【立地】 植栽地が広く地盤が高い →根が広くはれる  
→太枝の切断が少ない  
隣接木との間隔が広い →十分な日照



## ④ 池のあるエリア・池 西部

古傷からコフキタケに感染、根の衰退と幹の腐朽

【健康状態】

根元～幹の腐朽(コフキタケ)

小枝や大枝の枯れ

【立地】

池護岸に近接する 園路が狭まる場所に植わる

【原因】

- ・主に側溝工事による根の切断の可能性が高い  
→工事で生じた根の古傷からコフキタケが侵入  
→コフキタケが健全な木材を腐らせ養水分の連絡路に被害



腐朽の拡大を注視、可能ならば植栽枡を広げ土壤改良が望ましい

## ⑤ 池のあるエリア・池 南部

### 隣接樹木の成長に伴う桜の日照不足

#### 【健康状態】

小枝や大枝の枯れ

大きな枯下りの痕

#### 【立地】

常緑樹中心の樹林地内

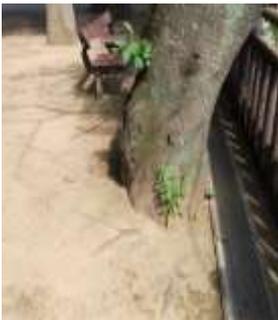
#### 【原因】

- ・ 樹林に囲まれ光を好む桜は日照不足 → 枯れの発生・樹勢衰退  
→ 枝が徐々に幹に向かって枯下る



枯れ枝を整理し周囲の樹木と重ならないサイズの維持が望ましい

## ⑥ 池のあるエリア・池 北部



### 踏み固めにより根が衰退、養水分不足による衰弱

#### 【健康状態】

顕著な枝枯れ・枯下り

樹勢の悪化

樹形乱れ

#### 【立地】

池護岸に近接する 近隣にベンチがある  
池で風景が良くお花見や休憩などで根元が踏まれる

#### 【原因】

- ・ 踏圧により土が硬い → 根が衰退。養水分の吸上げが困難
- ・ 護岸に隣接し根域が狭い → 養水分を受け取る範囲が狭い
- ・ 側溝工事による根の切断の可能性 → 腐朽菌の侵入
- ・ 一部の樹木間隔が狭い → 日照不足により年々樹勢が衰退

根元を保護する 土壌をほぐして土壌改良をするのが望ましい

